

令和7年8月12日

鳥取県知事 平井 伸治 様

鳥取県議会民主とっとり

会長 興治 英夫

9月補正予算編成等に当たっての要望事項について

令和7年度9月補正予算編成等に対して別紙のとおり要望しますので、予算編成及び今後の県政運営にあたり格段の御配慮をお願いします。

## 1 猛暑対策について

- (1) 命に危険が及ぶような災害級の猛暑の中、小中高校の児童・生徒の運動クラブ、部活動、小学生の地域任意クラブ合同の活動に対して、鳥取県子どものスポーツ活動ガイドラインの重要性を再度周知し、指導者に対する研修等の充実を図ること。
- (2) 炎天下で工事、農作業などを行う場合、以前の感覚で作業をするのは危険であり、作業・休憩時間、水分補給、気分が悪くなった時の対応など、今一度、県民に対して強く注意喚起すること。

## 2 渇水対策について

- (1) 農業における渇水対策として、頭首工等の水利施設について点検し、土砂の除去などの緊急対策に取り組むこと。
- (2) 施設栽培において、蒸散防止や節水につながる遮光ネットやドリップ式散水チューブの導入を支援すること。

## 3 米の流通状況の調査等について

- (1) 県内の米の適正価格と流通量の確保を目指し、県、JA、全農及び県内卸事業者で今年産米の価格と流通量に関する協議を行うこと。
- (2) 米の価格高騰が懸念される中で、無届での違法な庭先買付けを防ぐため、農林水産省の米穀の出荷又は販売の届出制度について生産者へ周知すること。
- (3) 生産者への米の売却先に関するアンケート調査等により、県内産米の流通状況を適切に把握すること。

## 4 生産コスト増加・米価高騰時の収入保険の補完制度について

自然災害による農作物への被害には、これまで収入保険への加入を推奨してきているところ。しかし、前5か年の収入に基づいて補償される現行の収入保険では、現下の生産コスト増加・米価高騰時には十分に対応できないため、収入保険を補完する制度について検討するよう国に要望すること。

## 5 親元就農を含む就農支援の充実について

親元就農を含む新規就農者の経営継承・拡大を図るため、国の「新規就農者確保緊急円滑化対策」等の事業を活用するなどして、農業用機械・施設等の修繕・移設・撤去・導入を支援すること。

## 6 トランプ関税交渉の日米合意を踏まえた県内産業対策について

15%の対日相互関税をはじめとしたトランプ関税交渉の合意内容に関して、下請け企業に対する値下げ圧力など県内産業への影響を把握し、必要に応じて、輸出先の多角化、新たな販路の開拓や雇用の維持等に向けた対策を講じること。

## 7 最低賃金の周知と賃上げ可能な県内経済の実現について

今年、鳥取県を含め、全国で最低賃金が1,000円を超える見込み。大きな節目となるため、改めて最低賃金について広く周知すること。

また、県内における最低賃金の確実な実現を図るため、賃上げを行う事業者への補助制度等について、最低賃金の引上げの影響を受ける県内の多くの事業者が活用できるよう対象事業を拡大すること。

## 8 県内の人材確保対策について

- (1) 高校生・大学生及び保護者、並びに一般求職者向けのオンラインを併用したキャリアセミナーの充実等を図るとともに、鳥取県で働いた場合の家賃や通勤時間を含む経済的・時間的なメリットについても積極的に発信し、地元就職の魅力発信を一層推進すること。
- (2) 介護士、保育士の処遇改善状況について、求職者に伝わり切っておらず、人材不足の解消に十分に繋がっていないと考えられるため、処遇改善策について求職者を中心に積極的にPRすること。また、離職原因を取り除く施策についても一層推進すること。
- (3) 2年連続の教員採用不足を克服すべく、教員採用予定者の辞退減少に向けて、採用予定者への働きかけを強化すること。また、若年世代の早期退職を防止するため、校内連携の強化を図ること。

## 9 高速バス・東京直行便の復活について

首都圏から鳥取県内への誘客等に向けて、多様な交通手段を確保し利用者の利便性を高めるために、東京直行バス（キャメル号）の復活に向けて、鳥取市、倉吉市などと連携し、バス事業者に働きかけること。

## 10 百日咳対策について

全国に先行して、昨年半ばから県内の患者数が急増している百日咳について、子育て世代を中心に感染予防の意識啓発を図るとともに、生後2か月から可能となっているワクチン接種を改めて勧奨すること。

## 11 点字ブロック点検等について

### (1) 国交省ガイドライン遵守について

点字ブロックについて、国交省のガイドラインでは、「最短距離で目的地に辿り着けるよう誘導するために連続的かつ極力直線的に敷設する」とされているが、県西部の交差点などで「曲がっている箇所」が多く見受けられる。

- (具体例)
- ・米子駅～ハーベストイン米子ホテル交差点
  - ・鳥取大学医学部附属病院前歩道
  - ・水木しげるロード内

また、「容易に識別できる色とする」とガイドラインに示されているが、周囲の舗装と点字ブロックの輝度比が十分に確保されていない箇所もあり、早急に点検を行うこと。

### (2) 日常的な点検とPRの強化、歩行訓練について

点字ブロックを安全に歩行できるよう、点字ブロックの点検や不適切設置事例の周知、点字ブロックの周囲に自転車などを置かないなどのマナー向上の取組とあわせて、専門家による歩行訓練を生活訓練の中に取り入れること。

## 12 犯罪から県民を守る対策について

犯罪から県民を守る緊急対策事業補助金の「防犯カメラ」等の購入補助の対象について、高齢者世帯の住宅に限らず、一人暮らしの女性住宅についても支援対象とするよう、補助制度の拡充を検討すること。

## 13 SNSによる差別事象への対策強化について

参議院議員選挙ではSNS上で差別意識によると見られる投稿が多数発信・拡散され、インターネット空間を介して多くの県民の差別意識に影響を与えた可能性がある。改めてSNSをはじめとしたインターネット上の差別事象に対処すべく、国に新たな制度創設等の対策を求めるとともに、県内においても対策を推進すること。

## 14 大規模風力発電事業の立地町との連携について

- (1) 鳥取西部風力発電事業について、計画予定地の立地町と綿密な連携を図り、必要な情報提供等を行うこと。
- (2) 林地開発許可等の法手続きにおいて定められた地元同意について、地元の意向が反映されるよう、立地町と連携すること。
- (3) 環境アセスメントにおいて県が指摘した事項への事業者の対応状況については、立地町の住民に対して十分に周知すること。